

（BOX 1）財別輸出の動向

新興国経済の減速の影響が和らぐもとで、輸出は、長らく続いていた横ばい圏内の動きを脱し、持ち直しに転じている。今回の輸出持ち直し局面における特徴点を、財別にまとめると、以下のとおりである。

財別輸出を先進国、新興国・資源国に分けてみると（BOX図表1）、このところ、①先進国向けの自動車関連が、国内への生産拠点の移管もあって、しっかりと増加しているほか、②半導体製造装置を含む情報関連が、アジア新興国向けを中心に増勢を強めている。情報関連について、企業からの聞き取り調査などによれば、最近は、スマートフォンの新製品向けだけでなく、中国スマートフォンのメモリ大容量化や、クラウド化に伴うサーバー需要の拡大、車載向け製品の増加など、電子部品需要の裾野に広がりがみられてきている。この間、新興国・資源国向けの資本財（情報関連を除いた工作・建設機械等）や中間財（鉄鋼・化学等）は、資源価格の持ち直しやアジアの在庫・設備調整の進捗を反映して、ひと頃に比べると改善しているとはいえ、なお一部に鈍さが残っている。

財別に輸出の先行きを展望すると（BOX図表2）、自動車関連輸出は、米国や欧州における自動車販売の頭打ち傾向を反映して（前掲図表9（1））、輸出数量の増加ペースは鈍化していくとみられるが、高付加価値化（輸出単価／輸出物価の上昇）トレンドを背景に²⁸、緩やかな増加傾向は維持される可能性が高い。情報関連については、世界半導体出荷額（WSTS）が、スマ

²⁸ 「輸出単価」は、名目輸出金額を輸出数量（自動車であれば台数）で割ったものであり、その算出に際し品質調整は行われない。このため、例えば、輸出数量が一定のもと、輸出金額が輸出された財の品質向上を反映して増加すれば、輸出単価は上昇する。これに対し、「輸出物価」は、品質が同じと考えられる財の価格変化を捉えたものである。このため、例えば、輸出単価が上昇しても、それが専ら品質向上に起因し、品質変化以外の純粋な価格変動でなければ、概念的に輸出物価は上昇しない。

近年のわが国の自動車輸出をみると、輸出数量は伸び悩んでいるものの、輸出単価（円建て）は、振れを伴いつつも、輸出物価（円建て）をはっきりと上回るペースで上昇している（BOX図表2（1）（2））。こうした輸出単価の輸出物価を上回る上昇は、付加価値の高いSUV車の輸出ウエイト上昇などに代表されるような、わが国から輸出される自動車の高付加価値化・高機能化を捉えている可能性が高い。

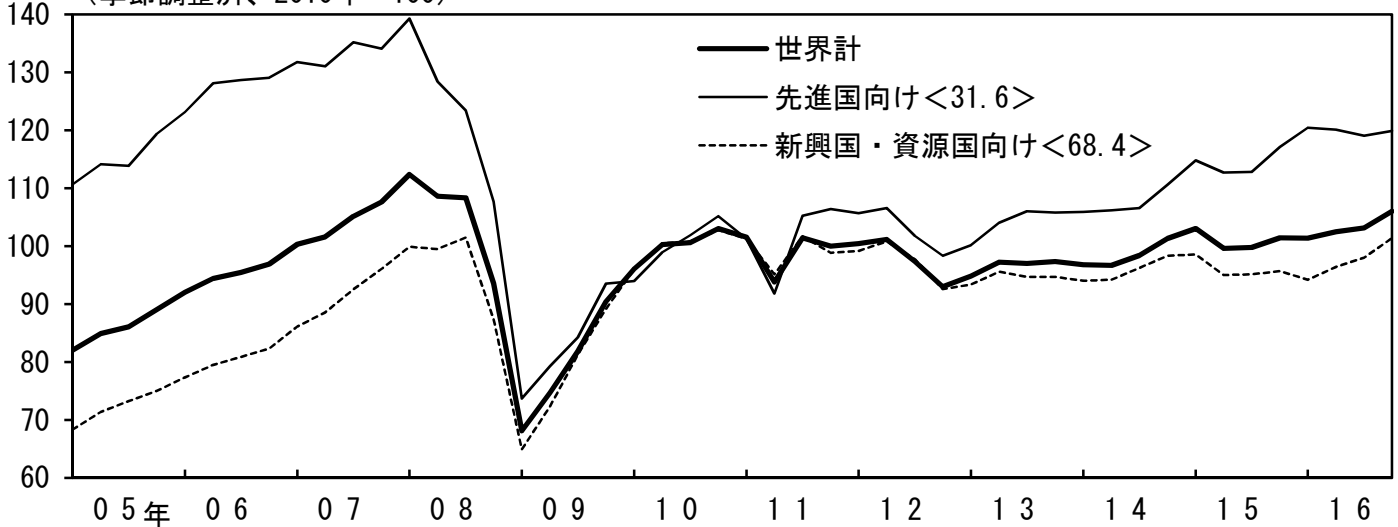
なお、契約通貨建て（大半はドル建て）の輸出物価をみると、ほぼ一定の動きを示している。これは品質向上も考慮に入れば、わが国の自動車メーカーは現地価格を維持するように行動しており（pricing-to-market）、この間の為替変動リスクを自社収益で吸収していることを表わしている。

スマートフォンメモリ大容量化やクラウド化に伴うサーバー需要の増大などを背景に、2017年以降も着実に増加すると見込まれている点を踏まえると、わが国の情報関連輸出も、振れを伴いつつ基調として緩やかに増加していくと考えられる。この間、情報関連以外の資本財輸出については、グローバルな設備投資がIMFの見通しに沿って見通し期間終盤にかけて持ち直していくに伴い、ごく緩やかに伸びを高めていく姿を想定している。

財別輸出の動向（1）

（1）日本の実質輸出

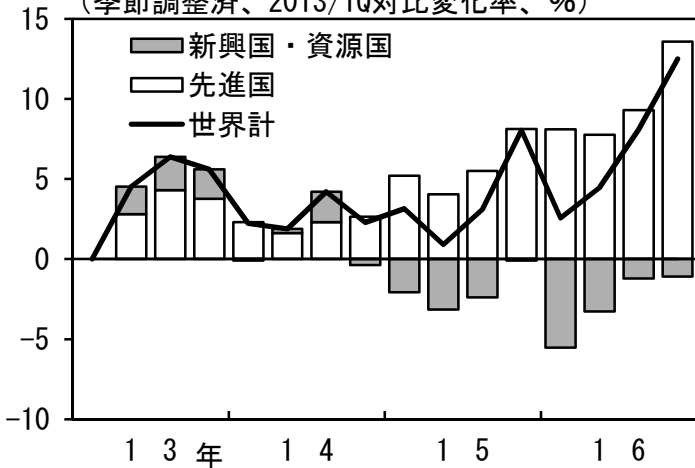
（季節調整済、2010年=100）



（2）実質輸出の財別内訳

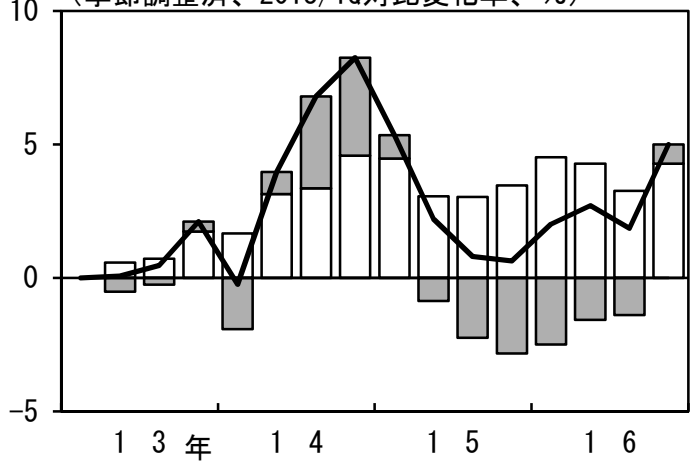
①自動車関連<24.9>

（季節調整済、2013/1Q対比変化率、%）



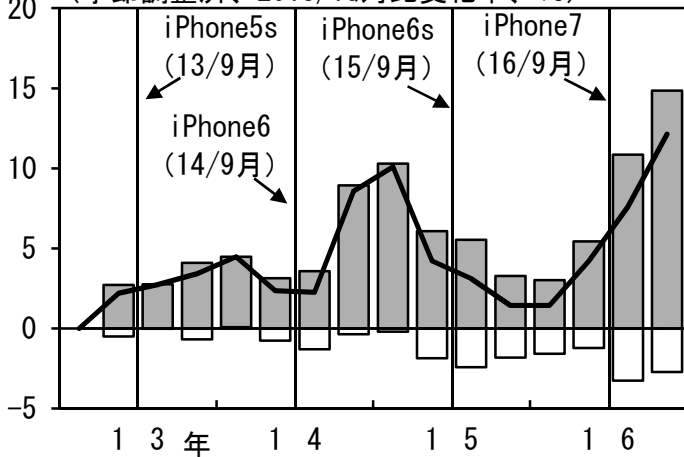
②資本財・部品（除くIT関連）<23.5>

（季節調整済、2013/1Q対比変化率、%）



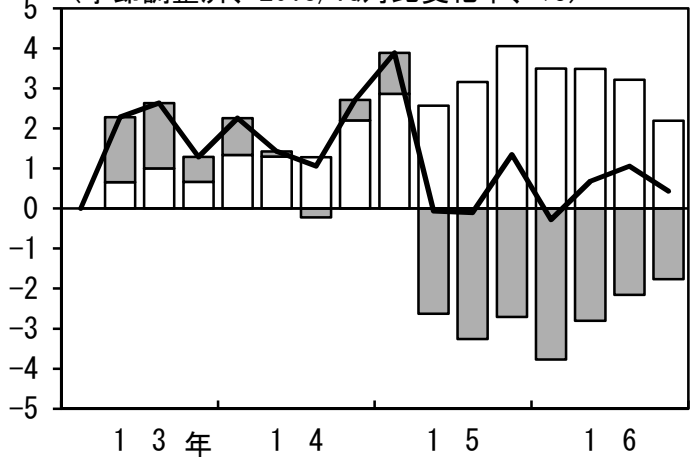
③IT関連<14.9>

（季節調整済、2013/1Q対比変化率、%）



④中間財<18.8>

（季節調整済、2013/1Q対比変化率、%）



（注）1. < >内は、2016年通関輸出入額に占める各地域または各財のウエイト。

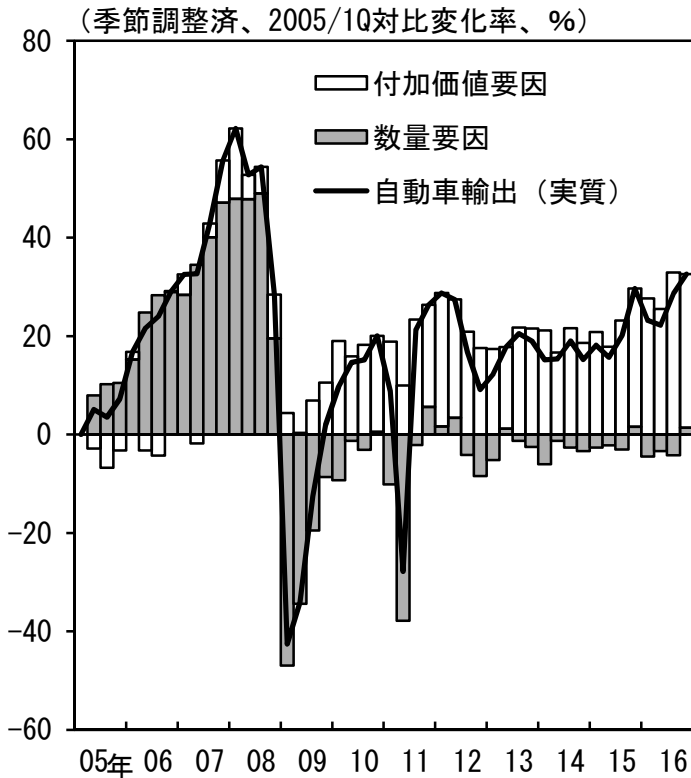
2. 先進国は、米国とEU。新興国・資源国はそれ以外。

3. IT関連は、情報関連+半導体等製造装置+電算機類の部分品+音響・映像機器の部分品。

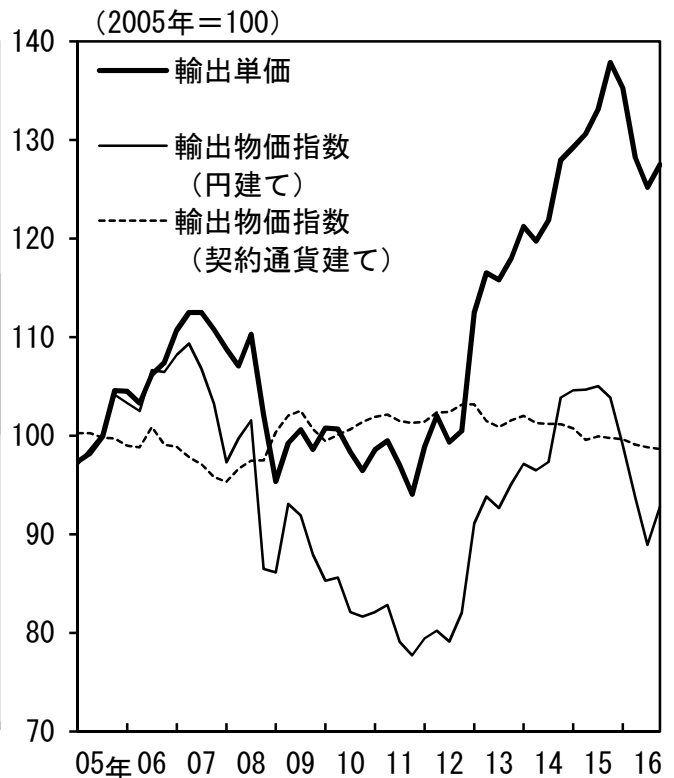
（出所）財務省、日本銀行

財別輸出の動向（2）

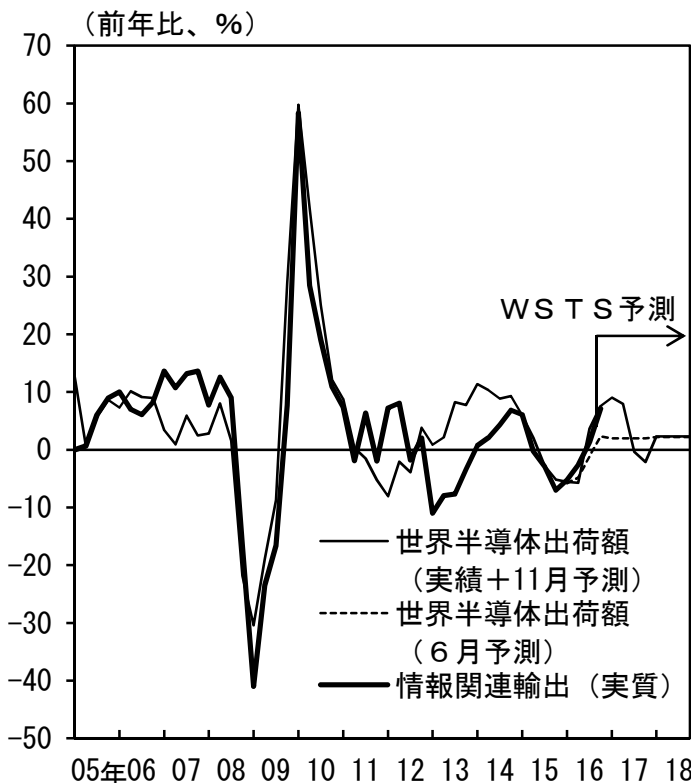
（1）自動車輸出と付加価値要因



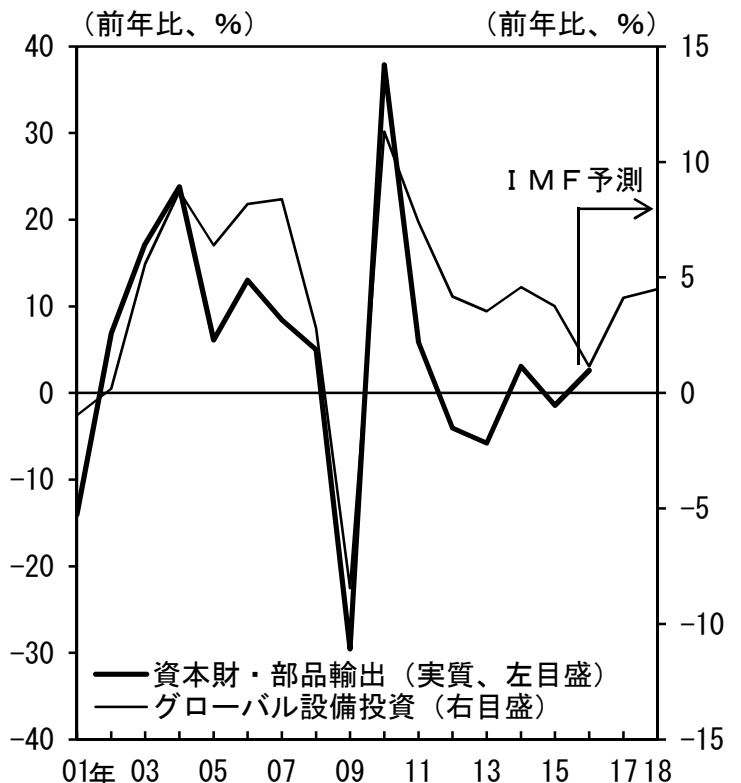
（2）自動車輸出の高付加価値化



（3）世界半導体出荷と情報関連輸出



（4）グローバル設備投資と資本財・部品輸出

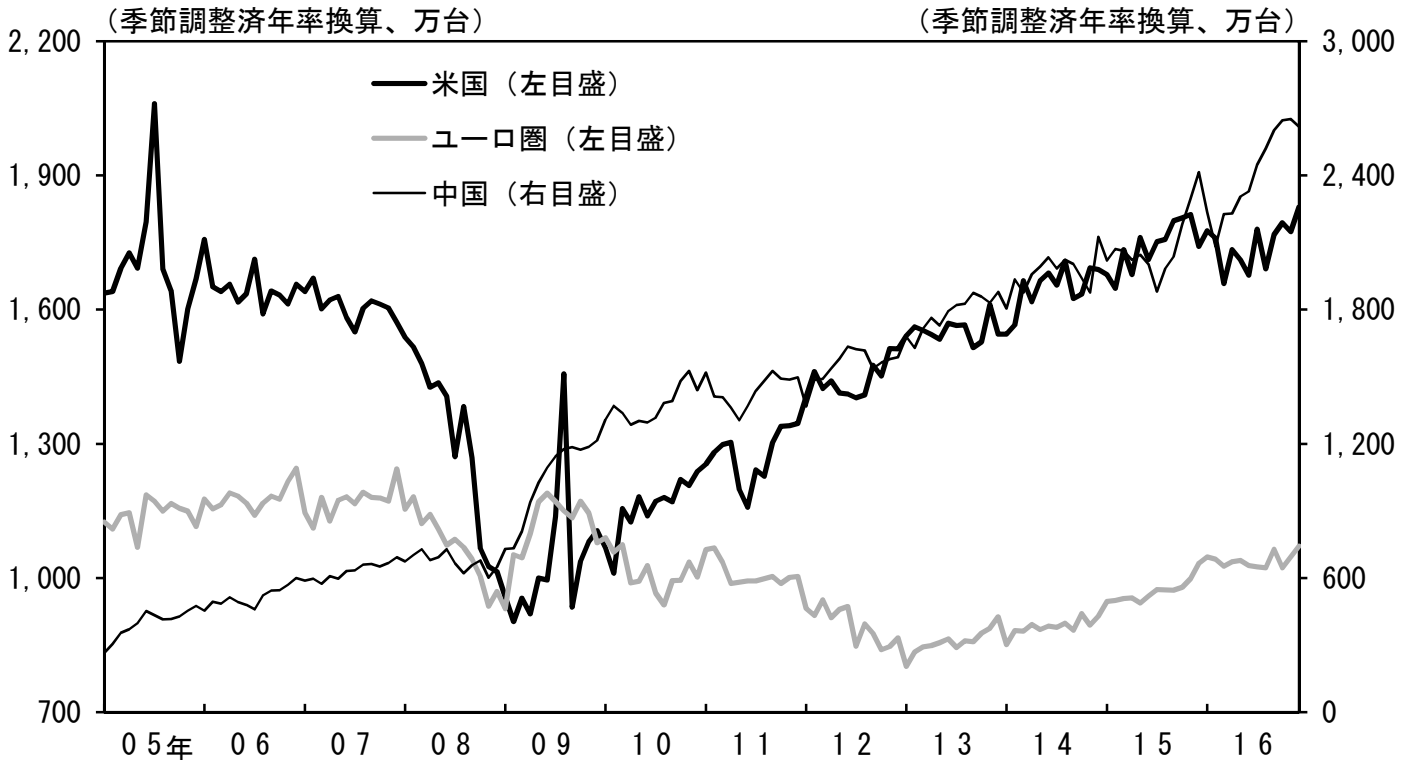


（注）グローバル設備投資は、IMFの世界実質GDP成長率および設備投資/GDP比率を用いて試算。2016/10月時点。

（出所）財務省、日本銀行、WSTS、IMF

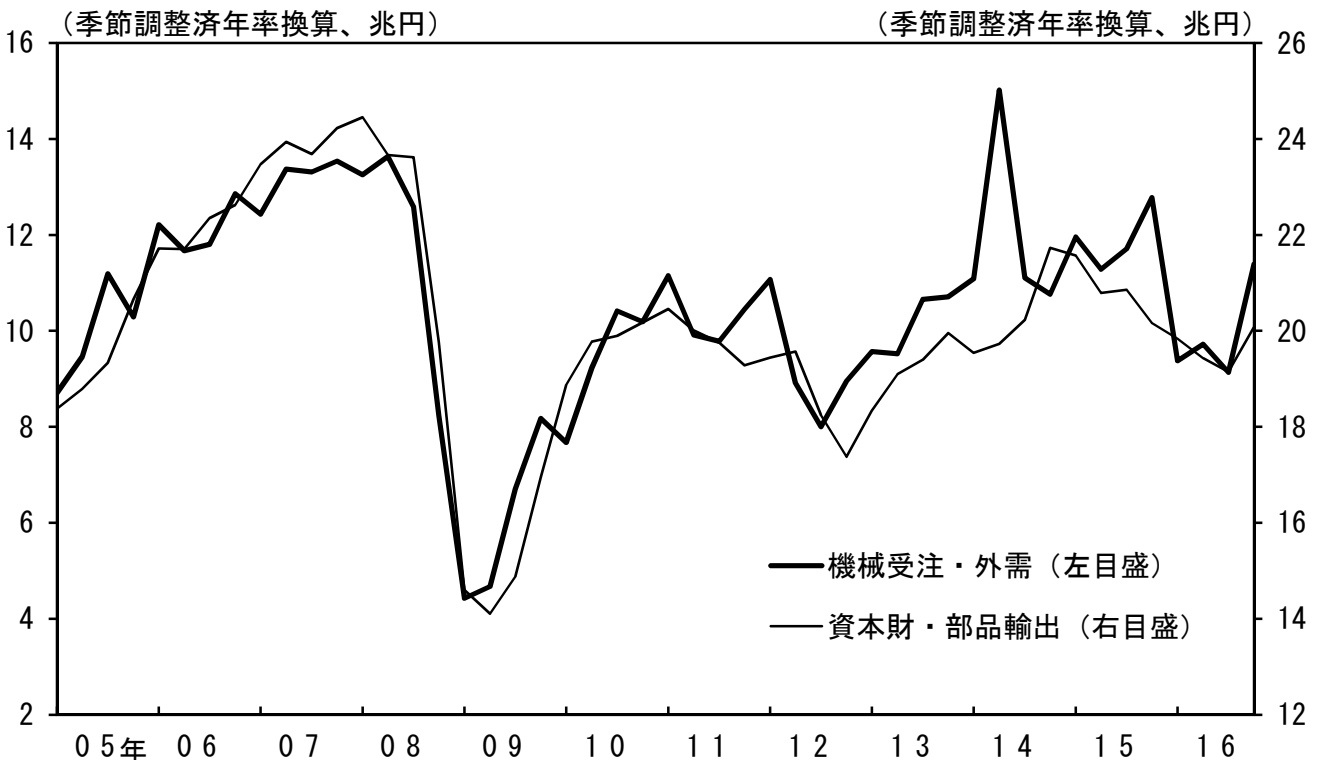
海外の自動車販売と資本財輸出

（1）主要国・地域の自動車販売



（注）米国は、自動車販売台数（除く大型トラック）。ユーロ圏は、乗用車登録台数。中国は、乗用車販売台数。

（2）機械受注・外需と資本財・部品輸出（名目）



（注）機械受注・外需の2016/4Qは、10～11月の値。